

# 11-2

## 中学校 特別活動（生徒会活動）

指導事例

### 「生徒総会のあり方を考えよう」

#### 【目標】

生徒会活動をととして、望ましい人間関係を形成し、集団や社会の一員としてよりよい学校生活作りに参画し、協力して諸問題を解決しようとする自主的・実践的な態度を育てる。

#### 【目指す子どもの姿】

他者の意見を聞き、自分の意思を決定し、さらに合意形成していく姿

### 1 活動の流れと「政治的教養を育む学びのプロセス」との関係

活動の流れ	ポイントになる学びのプロセス
<p><b>職員会議</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>生徒総会で討議させる内容は、職員会議に通し、教職員間の合意を図っておくこと。</li> </ul> <p><b>生徒会役員会議</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>議案書の生徒会活動方針案、総会への取組日程づくり。</li> <li>各種委員会、部長会、実行委員会等に対しての働きかけ。</li> </ul> <p><b>各種委員会、特別委員会</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>活動方針案を検討し、今年度の目標、方針をもとに委員会ごとの活動目標、方針、年間活動計画を立案する。</li> </ul> <p><b>中央委員会</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>生徒会役員と各委員会の代表で共通理解を図る。</li> <li>学級委員は全員参加。学級へ持ち帰る議案内容をしっかり把握し、説明できるようにしておく。</li> </ul> <p><b>学級内討議</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>生徒会、各種委員会、部長会の活動方針案の検討する。</li> <li>質問・意見・修正案（反対意見がある場合）を作成する。</li> </ul> <p><b>中央委員会</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>生徒総会で扱う議案（討議の柱）を絞り込む。</li> </ul>	<p>ポイントになる学びのプロセス</p> <p><b>身の周りの状況に気付く</b></p>
<p><b>生徒総会</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>各学級から出され、中央委員会で精選された議題を全校生徒で話し合い決定する。（*修正案の可否の確認方法）</li> </ul> <p><b>中央委員会</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>総会の決定内容を確認し、具現化することへとつなげる。</li> </ul> <p><b>【討議の柱の一例】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>各委員会の日常生活における点検活動の内容や取組方。</li> <li>あいさつの低迷、校歌を歌う声が小さい等の課題への取組。</li> <li>生徒会予算の部活への配分、校庭などの使用場所の分割等。</li> </ul>	<p><b>主体的に行動する</b></p>

## 2 政治的教養を育むためのポイント

### ポイント1

#### 学校の取組のなかで「民主制」を学びましょう。

学校の生徒会活動は、現在の行政の仕組みと類似しています。生徒会執行部＝「政府」、各種委員会＝「各省庁」、生徒が過ごす学校＝「国」。このため学級の代表である学級委員会<sup>会</sup>は議決機関「国会」であり、執行機関である他の委員会とは性質が異なるという認識が必要になります。また、委員会活動は学校生活を充実するために重要な役割を担っているという認識も必要です。

本来なら全員が一堂に会し、「話し合う」ことが基本です。国の政治等ではできないことですが、中学校では「生徒総会」でできます。民主主義を考える上で大切な体験となります。

社会では自分の意見を反映してくれる議員を選ぶことで政治に参加していきます。中学校では学級、学校の代表である委員や役員がそれにあたります。自分たちの代表は、民主的な手続きのもと、公平な選挙によって選ばれることの必要性を、体験を通して学びます。

### ポイント2

#### 生徒総会での話し合いには当事者意識をもたせましょう。

話し合いの結果が、学校生活に反映されるようなテーマを設定することで、生徒はより身近な問題として当事者意識をもって取り組むことができます。その成果や効果として次のようなことが考えられます。

- 一人ひとりの意見が反映され、お互いの考えを理解することができます。
- 様々な発想に触れ、自分の考えを再構築することができます。
- 生徒の様々なアイデアを生み出すことができます。

全校生徒の前で発言する機会は生徒にとって貴重な経験になります。話す内容、話し方等を工夫し、伝えやすい方法を考えることで、聞き手にとっても人の心を動かすプレゼンテーションの方法を学ぶ場となります。

また、一人一票を投じる機会も貴重な体験です。多数で可決される場合もあれば、数票差で可決されるといった場合もあるので、目前で物事が決まる緊張した雰囲気は心に残ります。

また、このとき、採決までのプロセスが大切になります。十分に意見を出し合い、採決をすることで決まったことに対する当事者意識が高まります。充実した生徒総会が行われた後の生徒は、「今、自分は何をすべきか」が自然と理解され、実行されていきます。